

しあわせの島、 しあわせの医療。

—すべての命に寄り添う医療を、この島で—

社会医療法人 義順顕彰会

種子島医療センター

ISLAND CARE

One Crew, One Mission

種子島 医療センター



生まれてから最期まで寄り添う。

種子島医療は、さまざまな職種の医療者が

「One Crew, One Mission」の精神のもと、力を合わせて支えています。

医療の現場は、決して楽な仕事ばかりではありません。

それでも、人の命と健康を守るという仕事には、何にも代えがたいやりがいと尊さがあります。

そして種子島には、ここでしか得られない経験と、医療者として大きく成長できる環境があります。

その先にあるのは、あなたも私も、

すべての人がしあわせになるための医療。

自分の仕事を誇りに思える医療者を目指して、私たちと一緒に歩んでみませんか。

あなたが安心して成長できるよう、サポート体制を整えてお待ちしております。

NUMBERS 数字 で見る種子島医療センター

※データは2026年のものです。

種子島医療センター DATA

(標榜診療科)
診療科目

26 科



内科から外科まで26の診療科を備え、幅広い診療に対応。熊毛医療圏の地域中核病院として、専門性の高い医療を提供しています。

産休・育児
取得率

(うち男性60%)

100 %



仕事と家庭を両立しながら安心して働ける環境を整備。ライフステージに合わせて長く活躍できる職場づくりを進めています。

手術件数

年間
約 1,000 件



年間1,000件を超える手術を実施。幅広い診療領域に対応し、緊急時にも迅速に手術が行える体制で島内完結の医療を支えています。

救急車搬入

年間
約 1,200 件



二次救急指定病院として、24時間365日体制で急病や事故に迅速に対応。島内で安心できる救急医療を提供し、地域の命を守っています。

■脳卒中に対する治療
(血栓回収療法、t-PAなど)

年間
約 20 件

■心筋梗塞に対する治療

年間
約 50~70 件

■消化器がん手術
(胃がん、大腸がん)

年間
約 20 件

■がん化学療法

年間
約 600 件

■大腿骨骨折手術
(観血的手術・人工関節置換術)

年間
約 80 件

■救急搬送後の緊急手術

年間
約 50 件

■65歳以上の手術

年間
約 900 件
(うち全身麻酔約300件)

種子島 基本DATA

人口

約 26,000 人

阪神甲子園球場に島民全員が入れるほどの人口。人との距離が近く、温かなつながりを日常で感じられる地域です。

面積

約 445 km²

島が琵琶湖(670km²)にすっぽり収まるほどの広さ。豊かな自然に囲まれながらも、島全体が身近に感じられる環境です。

標高

282 m

島で一番高い山でも東京タワー(333m)には届きません。なだらかな山並みと、海と空を近くに感じられる景観は、この島の魅力です。

距離

南北 約 58 km 東西 約 12 km

細長い地形が特徴で、車なら縦断1時間半、横断約20分。休日のお出かけも気軽に楽しめる、暮らしやすい島です。

お祭り

年間 100 件以上



100を超える神社があり、年間100件以上の祭りや伝統行事を開催。世代を超えて受け継がれる文化が、地域のつながりを育んでいます。

ヨガの聖地[®]

認定地
第 1 号



全日本ヨガ連盟による全国初の認定地。「浦田海水浴場」「安納の天女ヶ倉」「吉住サンセットライン」「太田のヘゴ自生群落」の4か所が認定されています。

Tanegashima



食料自給率

200 %越え

農業・畜産・漁業が盛んな種子島。豊かな自然の恵みを日常で味わえる「食の豊かさ」も島の魅力です。

サーフポイント

20 か所以上

「サーフアイランド」として全国に知られる種子島。初心者から上級者まで楽しめる多彩な波を求め、多くのサーファーが訪れます。

主要ロケット打ち上げ回数

(2026年9月現在) 97 回

1543年、日本で初めて鉄砲が伝来し、日本の歴史を大きく動かした種子島。約500年の時を経た今、この島には日本最大のロケット発射場「種子島宇宙センター」があり、日本の宇宙開発を支える重要な拠点となっています。

日本の未来を切り拓いた鉄砲伝来の地は、時代を超えて宇宙へ挑む島へと進化しました。受け継がれてきた挑戦の精神は、今も日本の科学技術を支え、新たな歴史を刻み続けています。

「しあわせの医療」を支える

6つの柱

診療科・診療サポート部門
はこちら



01



島内完結の医療を支える

「高度医療の推進・救急医療・災害医療」

「島内完結の医療」を目指し、幅広い診療科を設置。鹿児島大学病院など島外の医療機関と連携し、万全の診療体制を整えています。また、CT(320列)やMRI(1.5テスラ)などの設備を備え、二次救急指定病院として24時間365日体制の救急医療を担い、さらにDMATを組織し災害医療にも対応しています。



私たちが目指す、種子島医療のかたち。

離島だからこそ、医療を止めることはできません。

「ここに来れば必ず診てもらえる」という安心を守り続けることが私たちの使命です。

命を救うだけでなく、その人らしい人生の最終章に寄り添い、最期まで支える。

それが私たちの目指す離島(種子島医療)のかたちです。

02

365日安心を支える 「リハビリテーションの実践」

0歳のお子さんから超高齢者まで、幅広い疾患に対応した専門性の高いリハビリテーションを、早い段階から積極的に提供しています。退院後も患者さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、切れ目のない支援を実施。各専門スタッフが連携し、地域とともに365日体制でトータルリハビリテーションを行っています。



03

地域連携で支える 「高齢者医療、在宅医療」

当院では、患者さんへの負担の少ない低侵襲治療を取り入れ、高齢者に対しても積極的に検査・手術・治療・リハビリテーションを実施。訪問診療・看護・リハビリテーションを通じて退院後も地域と連携し、患者さんを孤立させない医療を提供しています。



訪問診療



救急医療・災害医療
について



リハビリテーション
について



急性期から退院まで、当院で完結できるリハビリテーション

当院のリハビリテーションは、術前・術後の急性期から退院まで、完結型のリハビリテーションを実践。その人らしさを取り戻せるよう、さらにADLの向上、寝たきりの予防、社会復帰まで、多職種と連携しながら退院後の生活期も支援しています。

子どもから高齢者まで 人生すべてに関わる医療

あらゆる世代の医療を島内で完結させる体制を整えています。救急、内科、外科、リハビリテーションまで幅広く対応し、地域の「最後の砦」として、患者さんの命と、その先にある「これからの生活」を守る医療を目指しています。

どんな状況でも、患者さんを断わらない。これが原点

二次救急指定病院として、365日24時間体制で救急患者を受け入れています。救急車で搬送される重症患者に対しては、診療科の領域を問わず各科の専門医が連携し、入院治療や手術を含めた高度な医療を提供しています。

病院の中だけで完結しない 切れ目のない医療

訪問看護、訪問リハビリテーションまで、多職種・関連施設が連携し、住み慣れた場所で安心して暮らせる切れ目のない医療体制を守っています。患者さん一人ひとりの背景まで理解して寄り添う医療は、種子島ならではです。



04

笑顔を支える 「離島看護の精神」

外来・入院に加え、訪問看護とも連携し、生活期まで切れ目のない看護を实践。退院後も、ご本人とご家族が安心し、笑顔で過ごせる医療を支えています。研修会や勉強会の開催、資格取得支援を通じて看護力の向上にも取り組み、認定看護師や特定行為看護師等のスペシャリストが活躍しています。



認定看護師

診療看護師

特定看護師



新人研修



05

未来を支える 「小児医療、予防医療の取り組み」

日本小児科学会認定の小児科専門医が常勤し、一般診療や予防接種に加え、「発達外来」や「小児リハビリテーション」にも取り組み、心身の発達や療育、育児を総合的にサポートしています。また、高度な医療機器による健診・検診を行い、健康寿命の延伸を目指す「予防医療」にも取り組んでいます。



院長診療



院内保育所

看護部教育
について

医療者としての成長をサポート

あなたらしい学びと成長を

入職時研修やOJT、外部研修への参加支援に加え、全職種を対象としたeラーニングを導入するなど、継続的に学べる環境を整えています。中途入職の方も先輩職員が丁寧にサポートするため、安心して新しいスタートを切ることができます。

向上心を、キャリアアップへ

それぞれの部署に応じた研修会や勉強会、資格取得支援、学会発表などを通じて、専門性を高められる環境を整えています。講師を招いて講演や実技実習を実施するなど、学び続ける姿勢を応援し、多くのスペシャリストを育てています。

未来の医療を担う力を育てます

離島医療や高齢者医療は、これからの時代に求められる医療を学ぶ絶好の機会です。全人的な医療を実践できる環境を活かし、全国から研修医や学生実習、多職種のインターンシップ、病院見学を積極的に受け入れています。

医療のプロとして 多様な経験を積める島

プライマリ・ケアを重視する当センターでは、救急から在宅医療まで幅広く担い、患者さんに寄り添う医療を実践しています。

幅広い判断力、柔軟な対応力、そして人に寄り添う人間力。医療者としての力量が日々試される現場だからこそ、本気で成長したい医療者にとって理想的な環境です。

しあわせを支える 「ワーク・ライフ・バランスの奨励」

良い医療を提供するにはスタッフ自身もしあわせでなくてはなりません。当センターでは、ワーク・ライフ・バランスを大切にし、医療のプロとして多様な経験を積める環境や福利厚生、ライフステージに応じた働き方の選択など、働きやすい体制を整え、スタッフのやる気と幸せな暮らしを支えています。

離島の未来へ
GO!



よくある質問



スタッフに聞く 種子島の暮らしQ&A



Q. 休日の過ごし方は？

海が近く、豊かな自然に囲まれた種子島。海辺のカフェでくつろいだり、釣りやキャンプ、サーフィンを楽しんだり、島ならではの時間を満喫できます。さらに、種子島宇宙センターから打ち上げられるH3ロケットを間近で見られるなど、ここでしか味わえない体験も待っています。

Q. 移住や住まいのサポートは？

家電・家具・Wi-Fiを完備した職員宿舍や家賃補助制度などを整え、新生活を支援しています。さらに職種により「入職祝い金制度」「転居費用制度」を設けており、西之表市の人材確保対策事業による奨励金との併用も可能です。詳しくはリクルートサイトをご覧ください。

Q. 離島での生活で困ることは？

医療センターのある西之表市は、豊かな自然と暮らしやすさを兼ね備えた町です。インターネットや携帯通信環境も良好で、オンラインショッピングや動画視聴も快適。飲食店やカフェ、学校、公共施設、スーパーなども身近に揃い、便利で快適な島暮らしを満喫できます。

種子島で働き、暮らす魅力

福利厚生
について



快適な暮らしを支える福利厚生

電化製品や家具を備えた医師住宅や職員宿舍、トレーニングジム「たねザップ」、保養施設「海の家」などを整備。仕事だけでなく、種子島での暮らしもサポートしています。

部署を越えてつながる仲間

サーフィン部や釣り部、ゴルフ部などのサークル活動に加え、地域の祭りも盛んで、医師や医療スタッフが職種の垣根を越えて交流を深めています。

ライフステージに合わせて働ける

育児・介護休業制度を整備し、一人ひとりのライフステージに応じた働き方を支援。仕事とプライベートを両立しやすい環境づくりに取り組んでいます。

仕事も子育ても、安心して続けられる

種子島は子育て支援制度が充実。院内には保育所を完備し、子育てをサポートする体制を整えています。仕事も家庭も大切にしながら安心して働けます。

島外へのアクセスも良好

高速船や飛行機を利用すれば、鹿児島市への日帰りも可能。福岡や東京までイベントに出かける職員も多く、充実したオフタイムを過ごせます。

理念

島民の皆さまに愛され 信頼される病院

私たちは思いやりの心と技術を研鑽する真摯な姿勢で豊かな地域医療の向上に努めます

基本方針

1 地域に根ざし、信頼される病院

- ・誰でも、いつでも安心して利用できる、地域に密着した病院作りを行います。
- ・救急体制を充実し、24 時間対応します。
- ・地域医療機関などとの連携を図り、必要に応じた役割を果たします。

2 温もりと思いやりのある医療を提供する病院

- ・各部署の強い連携により温もりのあるチーム医療を行います。
- ・患者様の権利を尊重し、安全医療の推進に努めます
- ・快適かつ安心して医療を受けられる療養環境を提供いたします。

3 医療の質を高め、お互いに学び合える病院

- ・医療人として専門知識、技術の研鑽に努めます。
- ・患者様共々学びあい、ニーズに合った地域医療を目指します。

MORE INFORMATION



ホームページ



リクルートサイト



病院説明会・見学会



種子島医療センター
紹介動画

ACCESS



HOSPITAL PROFILE



TANEGASHIMA
MEDICAL CENTER

社会医療法人 義順顕彰会
種子島医療センター

〒891-3198 鹿児島県西之表市西之表7463番地
ナビダイヤル Tel.0570-09-0960
(受付時間 平日8:30~17:00)



太田のヘゴ自生群落